

論文要旨

所属ゼミ	高木晴夫 研究室	学籍番号	80128432	氏名	島貴 智行
(論文題名)					
派遣社員のモチベーション・メカニズムに関する一考察 派遣先企業・派遣元企業それぞれの役割					
(内容の要旨)					
<p>日本の労働市場における人材の流動化や雇用の多様化が進展する中で、近年正社員の代替労働力としての派遣社員の活用が急増している。しかし、その急成長の一方で、派遣社員の活用にあたっては派遣先企業での就業期間の短さやコストパフォーマンスの悪さが問題点として指摘されている。</p> <p>本論では、派遣社員のモチベーション・メカニズムに焦点を当て、派遣先企業及び人材派遣会社による派遣社員への組織マネジメントの在り方を考察した。現在の派遣社員の大半を占める「一般事務」職種を調査対象とし、派遣先企業及び人材派遣会社のマネジメントと派遣社員のモチベーションとの関係、派遣社員のモチベーションと行動・成果との関係についての探索的調査を実施した。</p> <p>調査の結果、派遣先企業及び人材派遣会社の人間关系的要因が派遣社員のモチベーションに影響を与えていること、仕事紹介から就業初期にモチベーション要因が集中していること、派遣社員のモチベーションがその行動・成果に影響を与えていること、等が明らかとなった。その理由として、派遣社員のモチベーション・メカニズムが、派遣先企業と人材派遣会社による一連の動機付けプロセスの有無と派遣社員の派遣先における組織社会化の成否と密接な関係にあることによるものと考察した。</p> <p>これらの調査結果と考察を通じて、派遣社員を有効活用する組織マネジメントとして、派遣先企業と人材派遣会社は人間关系的マネジメントにより注力すること、派遣先企業と人材派遣会社は互いに派遣社員のモチベーションを高めるマネジメントを実践している会社をパートナーとして選択すること、を提言とした。</p>					